
「第2次徳島市地球温暖化対策推進計画」の策定に向けた 事業者アンケート調査へのご協力をお願い

春寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃は本市の環境行政にご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、徳島市では平成19年3月に徳島市地球温暖化対策推進計画を策定し、徳島市域からの温室効果ガス排出量削減に向けて、様々な施策を推進していますが、このたび、計画期間（平成24年度まで）が終了するため、新たな地球温暖化防止に向けた計画の策定作業を進めております。

このアンケート調査は、事業者の皆様への地球温暖化に関するご意見などをお聞きし、新たな計画に反映させることを目的に実施するものです。

つきましては、皆様方にはお忙しい中、誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成25年2月
徳島市長 原 秀樹

【調査票の記入にあたって】

- このアンケート調査は、市内に本店・支店等を有する事業所の中から業種、規模等を考慮して抽出した500事業者の方にお送りしています。
- 回答は、アンケートを送付させていただいた先の事業所のことについて、ご記入ください。
- アンケート調査票に直接記入していただき、2月22日(金)までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は必要ありません)

●事業所情報の取り扱い

回答に会社名の記入は必要ありません。

アンケート調査の回答は、すべて統計的に処理し、調査票自体が公になることはありません。また、本調査の目的以外には一切使用いたしませんので、ありのままをご記入ください。

【アンケート調査についてのお問い合わせ先】

□徳島市市民環境部環境保全課 担当：矢野

TEL：621-5213 E-Mail：kankyo_hozen@city.tokushima.lg.jp

徳島市地球温暖化対策推進計画の内容及び計画に基づく取組みの実施状況については徳島市ホームページの環境保全課のページで御覧になれます。

(URL) http://www.city.tokushima.tokushima.jp/kankyo_hozen/index.html

また、裏面に地球温暖化についての説明がございますので、ご覧ください。

■地球温暖化についての説明

地球温暖化って何？

地球にふりそそぐ太陽の光は、地球表面を温めています。また地球も熱を宇宙に放出していますが、大気中には、この出て行く熱の一部を吸収し、地球を温室のように温かく保ってくれる二酸化炭素、メタンや一酸化二窒素などの温室効果ガスと呼ばれる気体があります。

ところが、この温室効果ガス、特に二酸化炭素が増え続けて、大気中に熱がこもり、気温がどんどん上がっていくことを地球温暖化といいます。

その原因は？

二酸化炭素は、石油や石炭を燃やすと発生するガスです。私たちが普段、使っている電気の多くは、石油、石炭を燃やす火力発電所で作られています。電気やガソリンなどのエネルギーを大量に使うことが二酸化炭素の発生につながり、地球温暖化が進む原因となっています。

温暖化が進むとどうなるの？

地球温暖化は、異常気象を引き起こすことになり、私たちの生活にも関係してきます。

①気温の上昇

気温が35℃を超えると、熱中症にかかる危険があります。温暖化の影響で夏の気温が上昇すると、暑い夜が増えることになり、熱中症にかかる人が増える可能性があります。



②海面水位が高くなる

気温が上がると山や大陸の氷が溶けだし、海水の量が増えるとともに、熱膨張で海水の体積が増え、海面が上昇します。その結果、高波の影響や浸水による被害が発生しやすくなります。



③農作物の被害

気温が上がると、害虫が増えたり、これまで作っていた作物の気温に適さなくなったりして、収穫できる量が少なくなります。



温室効果ガスの排出量はどれくらい？

日本は、温室効果ガスの排出量について平成20年度～平成24年度の5年間で平成2年度と比較して6%削減することを国際的な取り決めである京都議定書で約束しています。しかしながら、平成23年度の排出量（速報値）は13億700万トンで、平成2年度と比較すると3.6%の増加となっています。（森林が吸収する量や国同士での排出量取引などを含めると目標は達成できる見込み）

なお、今後の目標については「平成32年度に平成2年度と比較して25%削減」を表明していましたが、平成24年9月に政府が発表した「革新的エネルギー・環境戦略」では、現在、考えられる取り組みを全て実施した場合で、5～9%の削減になるとされています。

温暖化を防止するには？

日本が排出する温室効果ガスの約95%は二酸化炭素です。そのほとんどがエネルギーを作る際に排出されています。

地球温暖化防止のためには、二酸化炭素の排出をできる限り減らすことが必要となり、節電や節水・ごみの減量などエネルギーや資源の無駄使いを止めるとともに、太陽光発電などの自然エネルギーを有効に利用していくことが重要です。また、二酸化炭素を吸収する植物を増やす緑化も地球温暖化防止に有効な手段の一つになります。



■温室効果ガスの量がちょうどよい場合



■温室効果ガスの量が多すぎる場合



出典：全国地球温暖化防止活動センター

1 貴事業所のことについておたずねします。

次のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

問1 貴事業所の業種は。

1. 農林水産業	2. 建設業・鉱業	3. 製造業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業		5. 運輸・通信業
6. 卸売・小売業	7. 飲食店	8. 宿泊業
9. 金融・保険・不動産業		10. サービス業
11. その他 ()		

問2 貴事業所（アンケートを送付させていただいた先）の従業員数は。

1. 1～4人	2. 5～19人	3. 20～49人
4. 50～99人	5. 100～299人	6. 300人以上

問3 貴事業所（アンケートを送付させていただいた先）の延床面積は。

1. 100m ² 未満	2. 100～499m ²	3. 500～999m ²
4. 1,000～1,999m ²	5. 2,000～2,999m ²	6. 3,000～4,999m ²
7. 5,000～9,999m ²	8. 10,000m ² 以上	

問4 貴事業所（アンケートを送付させていただいた先）の建物の所有形態は。

1. 自己所有	2. 賃貸（独立した建物）
3. 賃貸（共同利用のビル等入居）	4. 個人事務所（自宅兼等）
5. その他 ()	

2 地球温暖化に関する情報についておたずねします。

問5 地球温暖化問題について、どのくらいの関心をお持ちですか。貴事業所の考えに最も近いものを1つ選んで○をつけてください。

1. とても関心がある。
2. どちらかといえば関心がある。
3. どちらかといえば関心がない。
4. 全く関心がない。
5. その他 ()

問 6 貴事業所では、事業活動における地球温暖化防止の取り組みについてどのようにお考えですか。最も考えに近いものを一つ選んで○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 事業者の社会的責任（CSR）の一つとして、取り組む必要がある |
| 2. 温暖化の影響は今後の業績に関連する要素であるため、取り組む必要がある |
| 3. 消費者の好意度など会社のイメージ向上のために取り組む必要がある |
| 4. 新たな事業活動の展開（ビジネス分野の開拓）のために取り組む必要がある |
| 5. 本社（親会社）からの指示、同業者間の取り決めのため、取り組む必要がある |
| 6. 法律や条例などで要求されているので、取り組まざるを得ない |
| 7. 必要ではあるが、資金を投入してまで取り組む必要はない |
| 8. 特に取り組む必要はない |
| 9. その他（ ） |

問 7 貴事業所では、地球温暖化に関する情報を普段、どこから得ていますか。あてはまるものを全て選んで○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|----------|----------|------------|
| 1. テレビ・ラジオ | 2. 新聞 | 3. 雑誌・書籍 | 4. インターネット |
| 5. 業界・同業種での会合や会報 | 6. 講演・研修 | 7. 行政の広報 | |
| 8. その他（ ） | | | |

3 エネルギーの使用についておたずねします。

問 8 エネルギーの使用は地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出につながりますが、貴事業所では、機器や設備の利用に伴うエネルギー使用をどのように管理していますか。それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

質問項目	既の実施している	今後、実施予定	実施する予定なし	該当しない
(記入例) ○○○○○	1	②	3	4
1. エネルギー管理体制を構築する（担当者の配置など）	1	2	3	4
2. エネルギー消費量を計測・記録する	1	2	3	4
3. 設備・機器を定期的に保守、メンテナンスする	1	2	3	4
4. 主要な設備について、運転管理のルールを作成する	1	2	3	4
5. 省エネルギーに関する目標を設定する	1	2	3	4
6. 省エネルギー対策の効果を把握する	1	2	3	4

問 9 貴事業所では、温室効果ガスの排出削減に効果のある省エネルギー、再生可能エネルギーに関する設備等を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

また、「導入の予定なし」と回答された場合は、その理由を
下表の1～7から1つ選んで、番号を記入してください。



設備名	既に導入している	今後、導入予定	導入してみたい	導入の予定なし	理由
(記入例) ○○○○○	1	2	3	④	2
1. 太陽光発電	1	2	3	4	
2. 太陽熱温水器	1	2	3	4	
3. 風力発電	1	2	3	4	
4. 高効率給湯器(エコキュート等)	1	2	3	4	
5. コージェネレーションシステム	1	2	3	4	
6. 燃料電池	1	2	3	4	
7. 高効率照明(LED等)	1	2	3	4	
8. エコカー(ハイブリッド自動車、電気自動車)	1	2	3	4	
9. 建物の断熱対策(ペアガラス・複層ガラス等)	1	2	3	4	
10. 屋上、壁面の緑化	1	2	3	4	
11. 雨水利用システム	1	2	3	4	

※「導入の予定なし」を選択した場合、次の理由番号(1～7)を記入してください。



1	費用負担が大きい	2	設置場所の条件を満たせない
3	効果があるか疑問がある	4	機器の性能に不安がある
5	情報が無い(よく知らない)	6	必要性を感じない
7	特に理由はない		

問 10 今後、地球温暖化対策に効果のある機器・設備を導入するときの条件について、次のうち、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----|----------------------------------|
| 1. | 地球温暖化対策として非常に効果が高く、取り組みをPRできる |
| 2. | 機器・設備の導入にあたり、補助や融資を受けることができる |
| 3. | 光熱費などの必要経費を抑えることができる |
| 4. | 法律や条例により事業所が利用するエネルギー関連の規制が強化される |
| 5. | 機器の性能が上がり、費用対効果が向上する |
| 6. | 既存の機器・設備が老朽化する |
| 7. | 条件に関わらず、導入するつもりはない |
| 8. | その他 () |

4 温暖化防止に向けた取り組みについておたずねします。

問11 貴事業所で日頃の事業活動の中で地球温暖化防止のために配慮している取り組みはありますか。それぞれの項目についてあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

		現在している		現在していない			
		常に実行している	時々実行している	今後実行したい	今後考えたい	今後もしない	該当しない
記入例 ○○○○の取組み		1	②	3	4	5	6
冷暖房	1. 冷房は 28℃、暖房は 20℃を目安に温度設定している	1	2	3	4	5	6
	2. 暑さ、寒さ対策として、ノーネクタイなど服装の自由化を認めている(クールビズ、ウォームビズ)	1	2	3	4	5	6
	3. 冷暖房の稼働時間を決めている	1	2	3	4	5	6
	4. 春や秋には冷暖房の代わりに外気を取り入れる	1	2	3	4	5	6
	5. 冷房時はブラインド、カーテンを使用し、日射を防いでいる	1	2	3	4	5	6
照明	6. 照明点灯時間を決めている	1	2	3	4	5	6
	7. 不要時はこまめに消灯している	1	2	3	4	5	6
	8. トイレ、階段等はセンサー付き照明を設置する	1	2	3	4	5	6
	9. 不要な照明の間引きを行う	1	2	3	4	5	6
OA機器	10. 使用しない OA 機器の電源を切っている	1	2	3	4	5	6
	11. OA 機器は省エネモードに設定している	1	2	3	4	5	6
	12. OA 機器は省エネ型を優先的に導入する	1	2	3	4	5	6
給湯設備	13. 給湯温度の管理を適正に行う	1	2	3	4	5	6
	14. 季節によって給湯の配水系統を見直す	1	2	3	4	5	6
その他	15. 階段の使用を奨励している	1	2	3	4	5	6
	16. ノー残業デーを設定している	1	2	3	4	5	6
	17. 従業員に対して、環境に関する研修を実施している	1	2	3	4	5	6
	18. 従業員のマイカー通勤を抑制する制度を導入している。(ノーマイカーデーなど)	1	2	3	4	5	6
	19. 自動販売機の設置数削減や利用時間の短縮を行っている。	1	2	3	4	5	6

問 12 節電は地球温暖化防止に向けた取り組みの一つですが、平成 24 年の夏（7 月～9 月）は電力不足が懸念されたことから、四国電力管内では、猛暑であった平成 22 年度と比較して 5～7%の節電要請が出されました。平成 24 年の夏の節電の取り組みについておたずねします。

①平成 24 年の夏の節電に取り組みましたか。あてはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 節電に取り組んだ | → ②にご回答ください |
| 2. 節電に取り組まなかった | → ③にご回答ください |

②「**節電に取り組んだ**」とご回答された事業所の方におたずねします。平成 24 年の夏の節電では、どのようなことに重点的に取り組みましたか。あてはまるものを全て選んで○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 空調機器での節電（設定温度の変更、空調時間の削減、不在エリアの空調停止） |
| 2. OA 機器での節電（省エネモードの活用、未使用時の電源オフの徹底） |
| 3. 製造設備等での節電（電気以外の燃料への変更、稼働時間の調整） |
| 4. 照明での節電（こまめな消灯、間引き、LED 灯への変更） |
| 5. 待機電力の削減（未使用機器の電源オフ） |
| 6. 従業員への教育（節電目標や取り組みの周知徹底） |
| 7. その他（) |

③「**節電に取り組まなかった**」とご回答された方におたずねします。平成 24 年の夏の節電に取り組まなかった理由は何ですか。あてはまるものを全て選んで○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 事業の性質上（医療、福祉など）、節電は困難であるため |
| 2. 日常から省エネ、節電に取り組んでおり、節電の余地がないため |
| 3. どのような対策をすれば、節電に効果があるか分からなかったため |
| 4. 節電をしなくても電気は足りると思ったため |
| 5. 自家発電など独自に電源を確保しているため |
| 6. その他（) |

問 13 効率的なエネルギー利用（機器や設備の効率的な運転や工程改善など）を進めることは地球温暖化防止のために重要な取り組みになります。

次の取り組みについて、あてはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

①エネルギーの使用実態を調査し、効率的な利用についてのアドバイスを第三者から受けることができる制度（省エネ診断）

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 既に受けている | 2. 受けてみたい（関心がある） |
| 3. エネルギーの使用実態を把握できているので、受けるつもりはない | |
| 4. 関心がないので受けるつもりはない | 5. その他（) |

②省資源・省エネルギーなどの効果的な利用についての手順を定め、実行する環境経営システム（エコアクション 21）

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 認証取得している | 2. 認証取得したい（関心がある） |
| 3. ISO14001 など他のシステムがあるため必要ない | |
| 4. 関心がないので受けるつもりはない | 5. その他（) |

4 これからの地球温暖化防止対策についておたずねします。

問 14 地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減目標（平成 32 年度）について、おたずねします。あなたは徳島市から排出される温室効果ガスについて、平成 2 年度と比較してどの程度、削減する目標が望ましいとお考えですか。貴事業所の考えに近いものを 1 つ選んで○をつけてください。

☞ 参考に「地球温暖化についての説明」をご覧ください。

1. 現在、考えられる取り組みを全て実施した場合の 5～9%削減を目指す
2. 現在の徳島市地球温暖化対策推進計画で掲げる 6%削減を維持する
3. 排出量取引など国と同じ取り組みを実施することは困難であるため、3%削減を目指す
4. 平成 2 年度と同程度（±0%）を維持することが望ましい
5. どの程度が望ましいか分からない
6. その他（)

問 15 地球温暖化対策として、徳島市では、これからどのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。次の中から特に重点を置くべきと貴事業所が思うものを 5 つまで選んで○をつけてください。

1. 公共施設を中心とした自然エネルギーの率先導入
2. 市民、企業に対する自然エネルギー普及の積極的な PR
3. 省エネ機器や太陽光発電設備等の導入に対する補助金の交付
4. 断熱や夏の日射遮蔽など省エネ性能の高い省エネルギー住宅の普及促進
5. 地球温暖化に関する市民向けの情報提供や広報活動の推進
6. 学校や地域などで地球温暖化や省エネの方法に関する環境教育・環境学習の充実
7. 市民、市民団体などが行う地球温暖化防止活動への支援
8. 自転車ですりやすい環境の整備
9. 鉄道やバス等の公共交通機関の利便性の向上（自動車からの転換）
10. 二酸化炭素を吸収する森林の管理と育成の促進
11. 市街地の緑化の推進
12. ごみの減量化やリサイクルの推進
13. その他（)

問 16 貴事業所において地球温暖化防止に向けて取り組んでいること、事業所での地球温暖化防止に効果のある取り組みについての提案などがございましたら、ご記入ください。